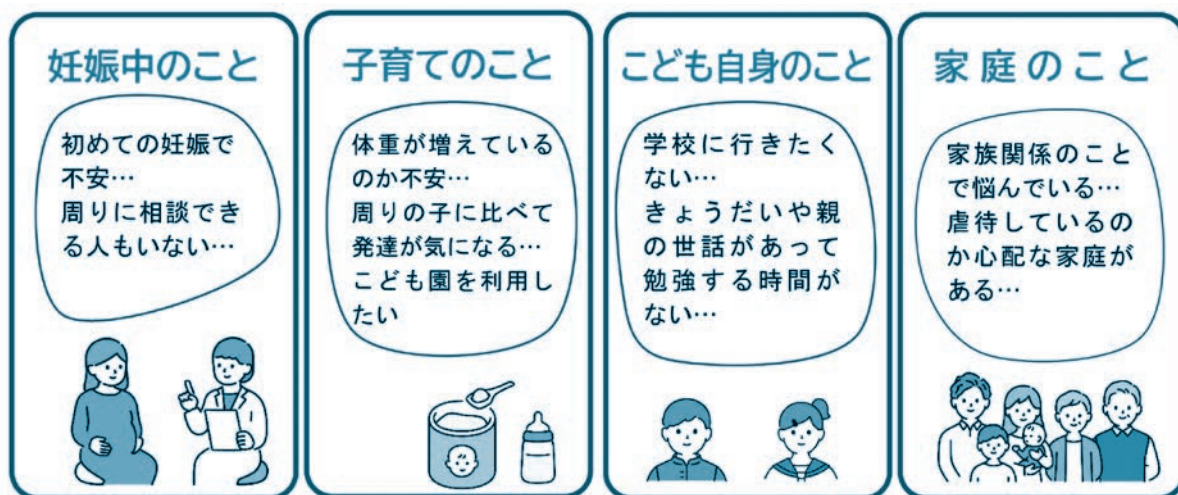


4月5日(金)に、平田村こども家庭センター「あるくす」がオープンしました。こども家庭センターでは、こどもに関する相談に対して、専門スタッフ(保健師や栄養士等)が関係機関と連携し、母子保健と児童福祉の両面から切れ目ない支援を行います。ぜひ、ご活用ください。



つなぐ

相談窓口を一本化。学校や医療機関などの関係機関と連携し、必要な支援に早期につなげます。

つながる

妊婦さんや子育て中の方々の交流、お子さんの遊び場としてもご活用いただけます。人と人とがつながる場所を目指します。



公式LINEで情報発信中！LINEを使った相談や予約もできます。

問い合わせ 平田村こども家庭センター あるくす
住 所 平田村大字永田字広町 34
(ひらた村立ひらたこども園 子育て支援室)
T E L 0247-55-3119
開 所 日 平日 8 時 30 分～17 時 00 分



「あるくす」は、実際に平田で子育てするお母さんたちが考えた名称です。

あるくす(arcus)はラテン語で虹という意味があります。虹は希望や幸運の象徴とも言われています。また、「あるく(歩く)」には、こどもや子育て世代の方々が希望を持って歩んでいけるような平田村にしたいという意味を込めました。

健康福祉課 ☎55-3119

病児・病後児保育事業のお知らせ

こおりやま広域圏連携事業の一つとして、病児・病後児保育の広域利用に関する協定を郡山市と締結しています。平田村民も郡山市にある医療法人仁寿会菊池医院が運営する「病児・病後児保育室らびっと」が、郡山市内在住者と同じ料金で利用可能です。

- (1) **開所日時** 月～金 午前8時30分～午後5時30分
土 午前8時30分～午後3時00分
- (2) **休所日** 日曜日・祝日・お盆・年末年始
- (3) **利用料** 1回 2,000円
- (4) **対象** 生後6か月～小学6年生



利用する際は、当日であっても必ず予約が必要になりますのでご注意ください。
詳しくは、病児・病後児保育室らびっとのホームページをご覧ください。

ひらた中央病院



小原 大治 医師

今回はアニサキス症について説明します。魚介類につく寄生虫アニサキスが食中毒を引き起こすアニサキス症は生や加熱、冷凍が不十分な魚介を食べることで起こります。アニサキスの幼虫は長さ2～3cm、直径1mmほどの大きさで、半透明の白い糸状に見え、目視も可能です。生きたアニサキスが口から体内に入り胃や腸の壁に突き刺さると、激しい腹痛などの症状を引き起こします。これはアニサキスが突き刺さったことによる直接的な痛みではなく、アニサキスに対する体のアレルギー反応によるものであることが分かってきています。嘔吐や発熱、じんましんなどの症状が同時に出る場合もあります。まれに、小腸まで入り込み、腸閉塞を起こしたり、呼吸困難になり、入院を必要とする場合もあります。原因となる魚介類はカツオやサバ、イカ、サケ、サンマなど様々です。

アニサキスが胃で見つければ内視鏡で摘出でき、ほとんどの場合はじきに症状が治まります。胃より先の小腸に入ると摘出は難しく、腹痛などの症状を薬で抑えながらアニサキスが死滅するのを待ちます。アニサキスは人体内では長く生きられず、数日から1週間ほどで死滅します。内視鏡で除去できなくても、2～3日で症状が治まることが多いです。

アニサキス症を回避するためには食するときの温度が重要です。アニサキスの弱点は温度であり、-20度の冷凍を24時間以上、または、60度以上の過熱1分で死滅することがわかっています。特にカツオ、サバ、イカ、サンマを生食する場合は冷凍してから解凍することが大切です。刺激物でアニサキスを殺虫する考え方は無意味であり、からし、わさび、酢などでは、アニサキスは死滅しません。アニサキスは熱に弱いので、煮魚、焼き魚などの熱を加える調理方法の場合は、確実にアニサキスの影響を受けません。一度でもアニサキス症を経験したことがある人ならば、予防の重要性を理解していると思います。

問い合わせ：ひらた中央病院 ☎ 55-3333